

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

取付けの前に

- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根氷の抑制対策およびドレン抜穴の氷結による詰り防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付け完了後、電気配線の接続が確実にされていることを確認するとともに、この取付説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になります。

取付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。

- 部品に不備があると、感電・火災・ユニット落下によるケガ・水漏れ原因になります。

配線は、所定の電線を使用して確実に接続し、端子接続部に電線の外力が伝わらないように確実に固定する。

- 接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

取付けは、この説明書にしたがって確実にこなす。

- 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規定」を遵守し、取付説明書にしたがって施工してください。

- 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。

室外ユニットのサービスパネルを確実に取付ける。

- 取付けに不備があると、ほこり、水などにより感電・火災の原因になります。

注意

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には取付けない。

- 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまと、爆発の原因になることがあります。

アース工を行なう。

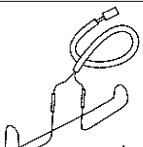



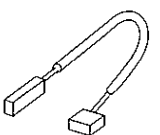
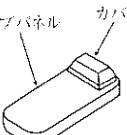
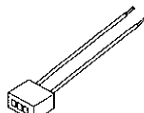

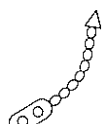
- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。

電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。

- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

品番	①ベースヒータ	②ヒータ固定金具	③ネジ (4×10)	④バンド	⑤外気温度センサー
形状	 1set	 2個	 2本	 7本	 1set
品番	⑥ベースヒータ制御部本体	⑦四方弁中継線	⑧圧着スリーブ	⑨ファスナー	
形状	 1set	 1set	 2個	 2本	

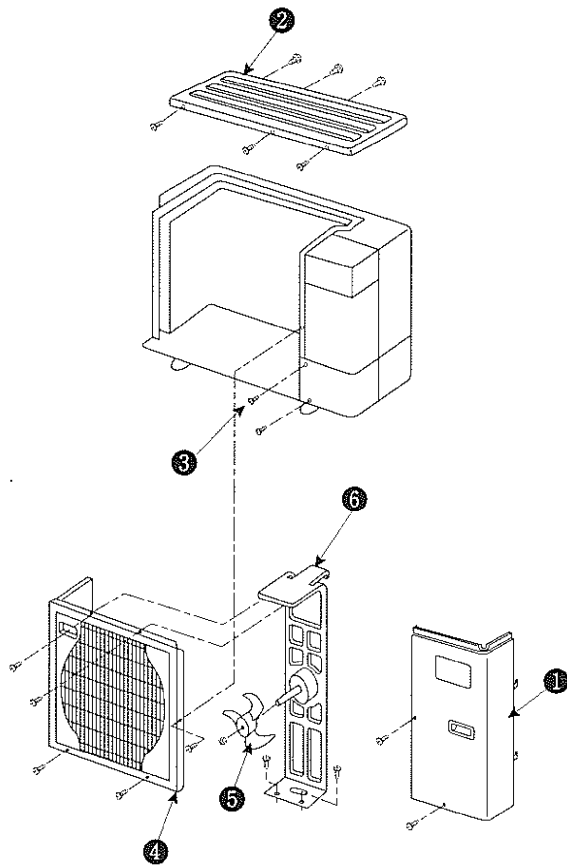
2. 取付準備 ※ベースヒータの組込みは室外ユニットを据付ける前に行なっていただく方が容易にできます。

- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒータ取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を充分に行なってください。

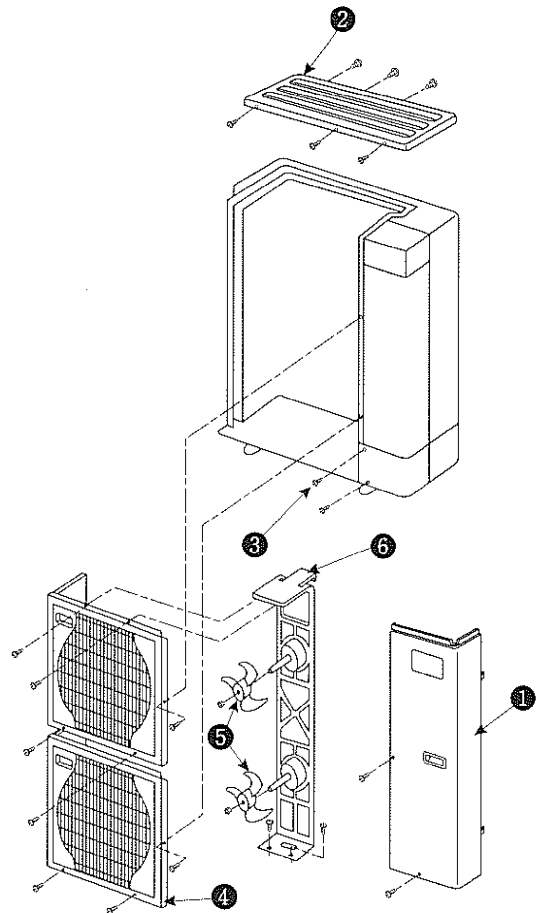
3. ベースヒータ組込準備

次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行ないます。

1ファン機種の場合



2ファン機種の場合



① サービスパネルの取外し

前側3本のネジをはずした後、パネルを下方にスライドさせてから取外す。

② トップパネルの取外し(取外したトップパネルは使用しません)

前側2本、後側3本の各ネジを取外した後、上側に持ち上げて取外す。

③ カバーパネルネジ取外し

カバーパネルのネジを取外す。

④ フロントパネルの取外し

1ファン機種は5本、2ファン機種は6本のネジをそれぞれ取外し、フロントパネルを上方にスライドさせてから前側に引き取外す。

⑤ ファン取外し

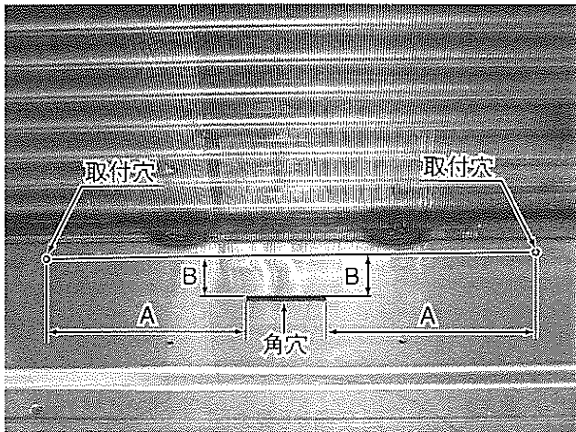
ファンの固定ネジを取外し前側に引き出し取外す。

⑥ モーターサポート取外し

ファンモーターのコネクタを外した後、モーターサポート固定ネジ2本を取外し、全体を斜め前方に持ち上げ取外す。

別売形名	適用機種
PAC-SG54BH (200V, 150W)	室外ユニット用 インバーターHシリーズ63~160形 一定速Hシリーズ63~160形

4. ベースヒータ取付穴の加工



各部品を取り外した後、左図位置にベースヒータ取付用の穴を孔けてください。取付穴の位置は下表寸法に従い、誤りのないように加工してください。

	A	B
PAC-SG54BH	135	21

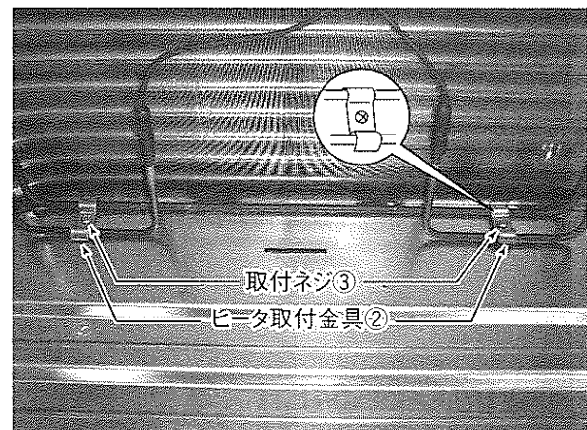
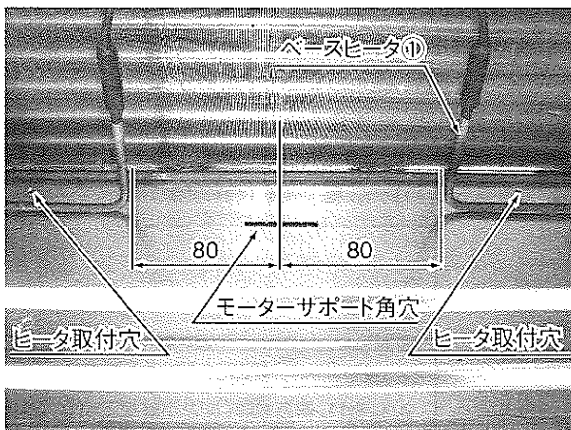
※上記寸法はモータサポート角穴を基準とした寸法値です。
※取付穴はφ3.0~φ3.1です。

5. ベースヒータの取付け

- モータサポートの角穴部にベースヒータ①を仮置きしてください。(下図参照)



- ヒータ取付金具②と固定ネジ③で、ベースヒータを固定してください。



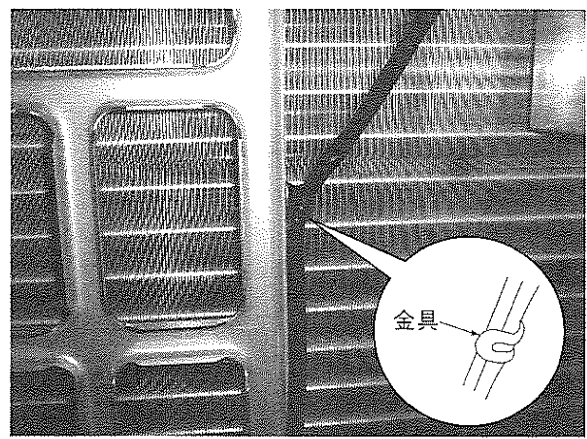
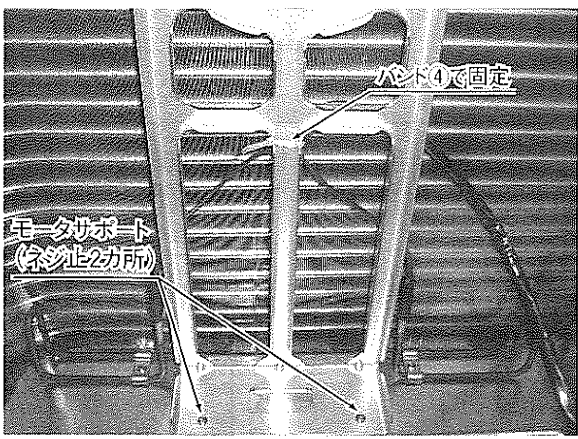
6. モータサポート, ベースヒータリード線の固定

1ファン機種の場合

- モータサポートにベースヒータリード線をバンド④を使用して中央1カ所固定してください。

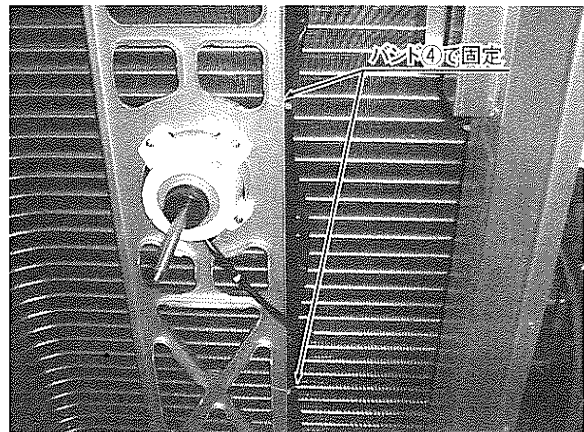
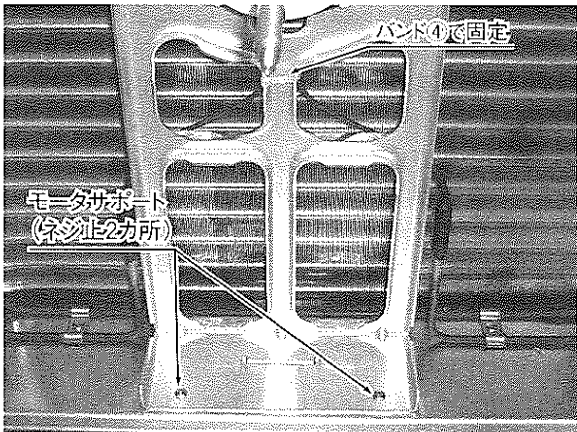


- ベースヒータリード線をファンモータ右上のファンモータリード線用固定金具の下側にバンド④を使い、固定してください。(1ファン機種は1カ所固定)



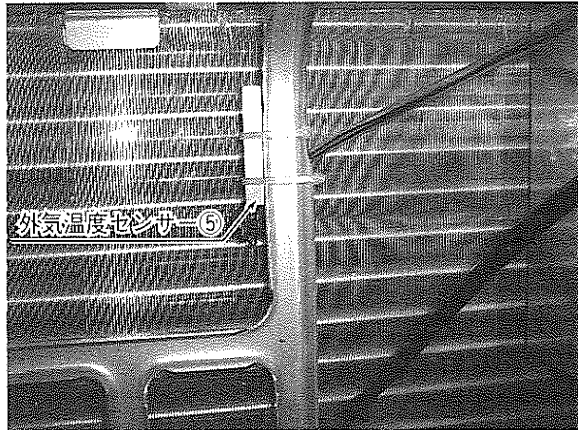
2ファン機種の場合

- 2ファン機種は左図の様にベースヒーターリード線を上下2カ所にバンド④とファンモーターリード線用固定金具で固定してください。

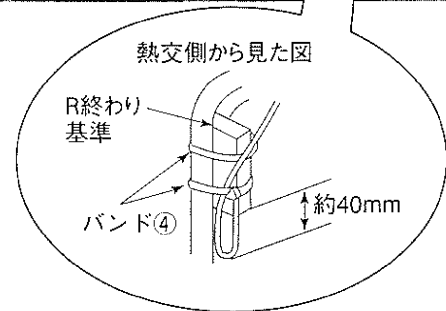
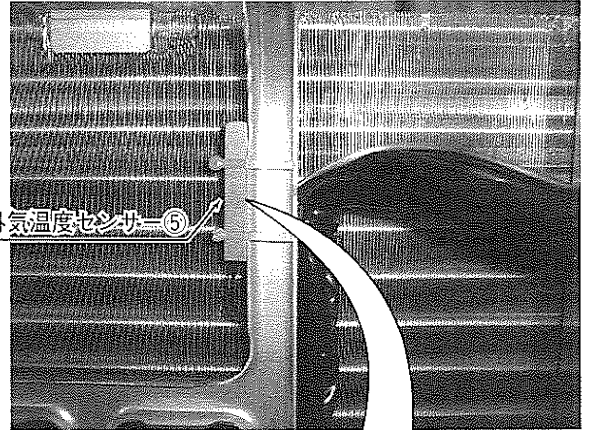


7. 外気温度センサーの取付け

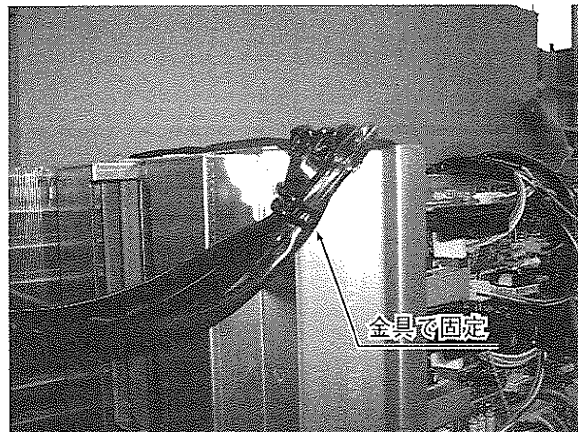
- 外気温度センサー⑤の感知部に貼付けの両面テープ離けい紙をはがし、図に示すモーターサポート上部に、リード線を下方に向け固定してください。



- 外気温度センサーのリード線を、約40mmの位置でU曲げし、上下2カ所をバンド④で固定してください。尚、下側のバンド④は外気温度センサーリード線と一緒に固定してください。



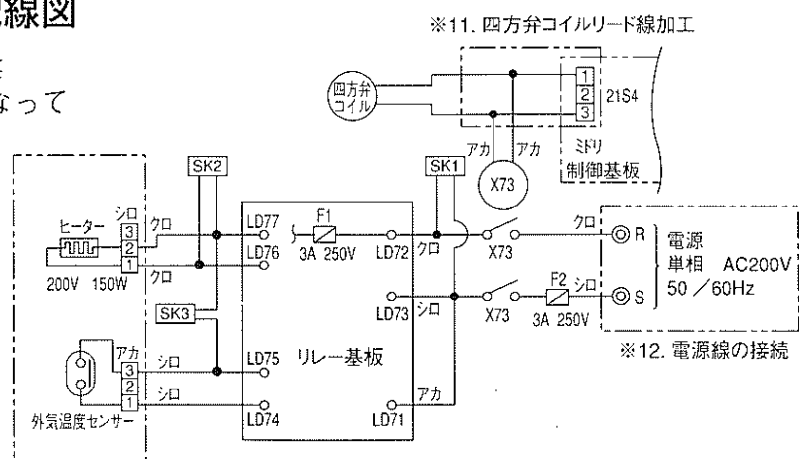
8. 各リード線の固定



- 外気温度センサー、ベースヒータ、ファンモーターの各リード線を、セパレータに取付けられた金具でまとめ、Uカット部に押し込んでください。

☆PAC-SG54BH 電気配線図

右配線図を参考に9～11の作業
(リード線接続作業)をおこなってください。

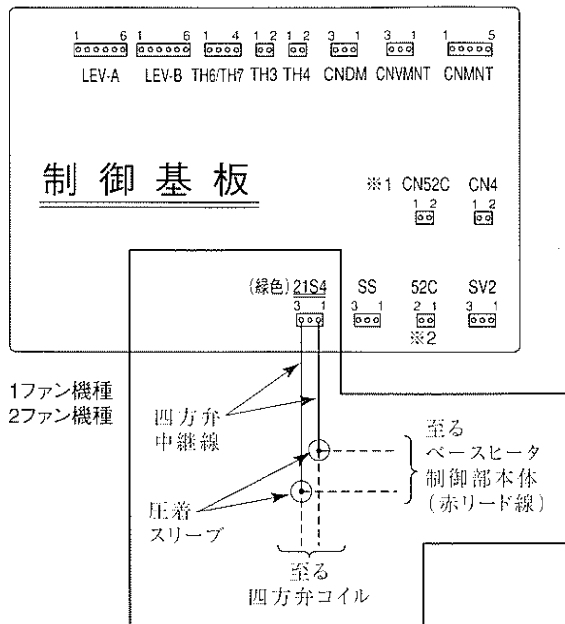
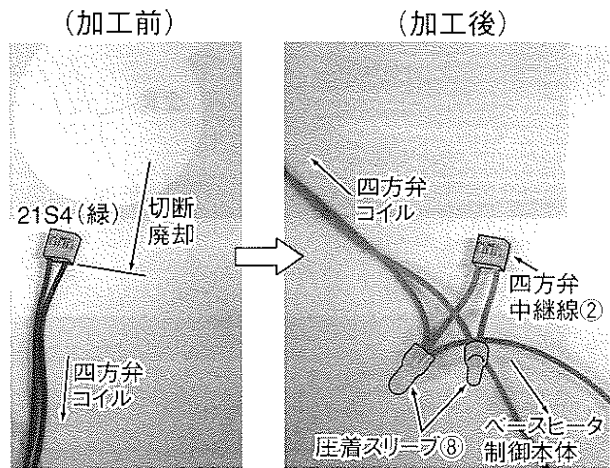


※11. 四方弁コイルリード線加工

※12. 電源線の接続

※13. ベースヒータ、外気温度センサーの接続

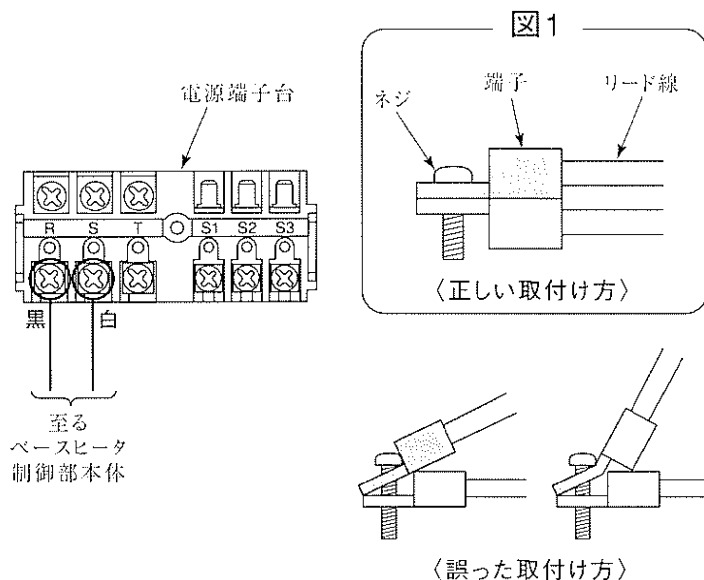
9. 四方弁コイルリード線加工



● 次の手順で作業を行ってください。

- i) 電気品箱内にある制御基板内の、四方弁コイル (21S4のコンネクター) リード線を取外してください。
(加工前参照)
- ii) 四方弁コイルリード線のコンネクター (緑) を切断し、リード線の先端は圧着スリーブ⑧でカシメ固定する為、15mmの皮むきを行なってください。
- iii) 皮むきをした四方弁コイルリード線、ベースヒータ制御部本体⑥からの皮むきされた赤いリード線、四方弁中継線⑦をそれぞれ圧着スリーブ⑧でカシメて固定し、電気品箱内に収めます。
(上右図、加工後参照)

10. 電源線の接続

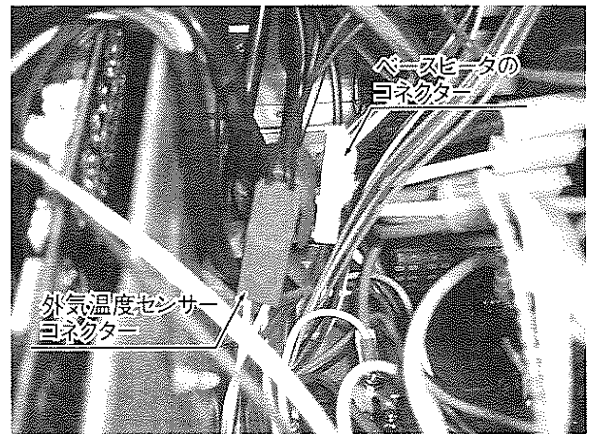
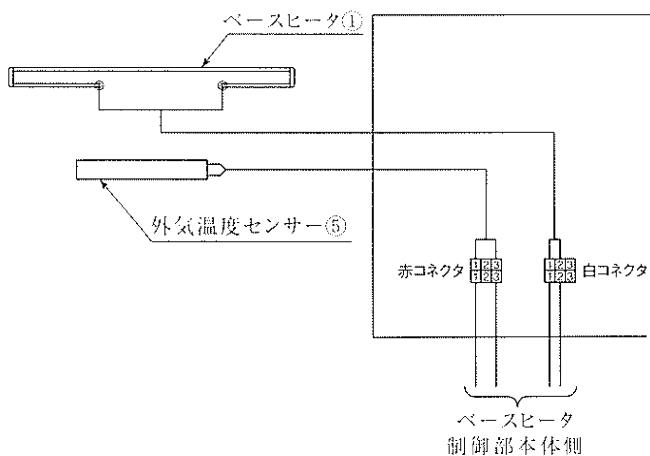


- ベースヒータ制御部リード線からの電源線 (黒色、白色) をそれぞれ室外ユニット電源端子台 R,S相に既設の端子と共締めしてください。
※端子の向きは、必ず図のように取付けてください。

⚠ 警告

端子の取付けは、緩みのないように確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

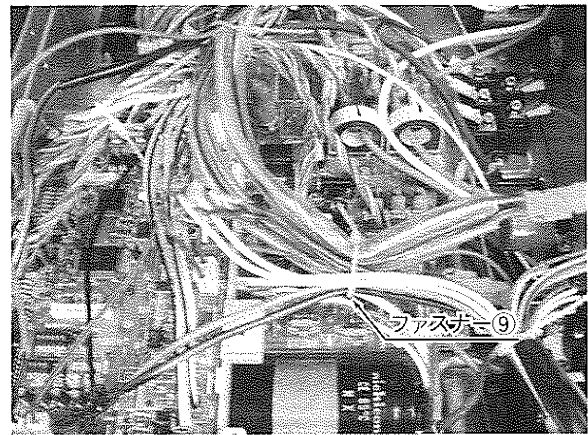
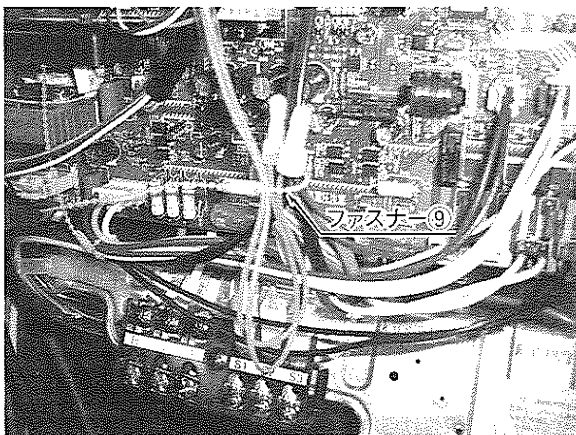
11. ベースヒータ, 外気温度センサーの接続



- 各 부품のリード線端子部の色とベースヒータ制御部から出る同じ色のリード線端子を電気品箱内で接続してください。

12. 各リード線の固定

- 各リード線の接続後に、ファスナー⑨を使い固定してください。尚、本別売で使用したリード線については、全ての機種に対応出来る仕様に長さの設定になっていますので、場合によっては余る場合がありますが、適宜リード線を束ね電気品箱内に収めてください。



13. 再組立

- 以上のようにベースヒータの取付及び電気配線の接続が確実に行なわれていることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。
※プロペラファンは必ず $5.7 \pm 0.3 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($57 \pm 3 \text{ kg} \cdot \text{cm}$) のトルクで締付けてください。

⚠ 警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

